

自立活動についての研修会が7月24日（月）に行われました。

講義内容

【自立活動の指導の在り方～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～】

講師：教育センター教育支援研修課特別支援教育研修班

廣瀬 雅次郎先生 川崎 智美先生

※教育センターの2名の先生に講義をしていただきました。

具体的な講義内容

- 1 次期学習指導要領における自立活動の指導の方向性
- 2 自立活動の指導で大切にしたい視点
- 3 自立活動の個別の指導計画作成の手順
※手順におけるポイントについて
※演習：個別の指導計画の見直し
- 4 自立活動の指導力量形成に向けて



各クラスで児童生徒を一人選び、複数の目で実態把握について加筆修正、目標の見直しを行いました。

その① 自立活動の指導で大切にしたいこと

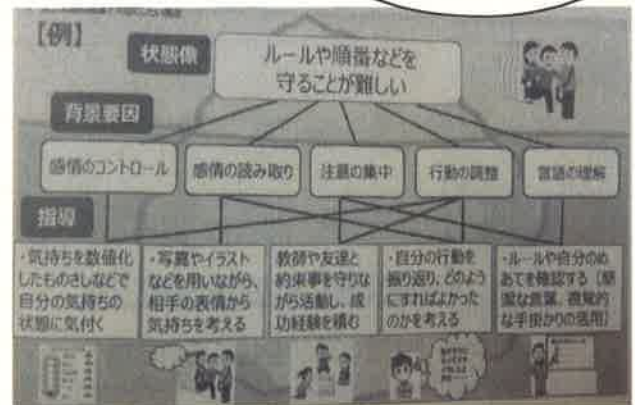
- ・生徒の状態像に対する指導だけでは効果的な指導とならないことが多い。



- ・背景要因から子どもの状態像を捉える

その② 自立活動の個別の指導計画作成のポイント

- ・実態把握は自立活動の6区分に即して整理する。
→一側面に偏らず、多面的な視点で！！
- ・複数の目で整理する。



※研修資料より抜粋

- ・課題の抽出は学習の履歴や身に付けさせたい力を考慮する。
- ・『「支援があればできること」で本人の強みとして生かすことができること』『日常生活に般化できる見通しがたつ段階にあること』『数年間指導して、習得にいたらなかったこと』『「3年後に目指す姿」との関連が弱いと判断されること』は目標設定につながる「課題」としては捉えない
- ・抽出した「課題」間の関連を考え、整理し、中心となる課題を考えていく。

「自立」とは「それぞれの障害の状態や発達段階などに応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している」と学習指導要領に記されています。子どもたちの自立に必要な力を育む指導の中核を担うのが自立活動の指導です。

本校では、今年度から自立活動部を立ち上げ、児童生徒の障害特性に応じた自立活動の指導内容・方法について、実践を深めるとともに、自立活動に関する専門性の向上、自立活動の充実に努めています。